



◀広報はえばる第1号
昭和47年9月発行
3ヶ月に1回の発行でした。
村長あいさつや役場の
組織図などを掲載。

◀広報はえばる第100号
昭和61年9月発行
昭和56年5月号から毎月
発行になりました。
身近な話題や町内の出
来事なども掲載。

◀広報はえばる第200号
平成7年1月発行
平成7年2月号からはA4サイズ
となり、平成9年5月号から
は表紙と裏表紙がカラーに
なりました。

◀広報はえばる第300号
平成15年5月発行
表紙にイラストや漫画を取り入
れてユニークなデザインに。
「わが家のアイドル」など
現在と同じコーナーも
掲載。

◀広報はえばる第400号
平成23年9月発行
記念号や中央公民館の
閉館について特集
ページを掲載。
令和元年5月号からは
表紙と裏表紙が
二色刷に
なりました。

おかげさまで 広報はえばる 祝500号!

《より親しまれる広報紙を目指して》
昭和47年9月5日に創刊された「広報はえばる」が、令和2年1月号でめでたく500号を迎えました。「広報はえばる」は、町民のみなさまに町政への理解と関心を深めていただくとともに、町政と町民を結ぶパイプ役になることを目的に創刊されたものです。現在、1万5千部を発行、各自治会を通じて各ご家庭へ配布しています。また、町内だけではなく、ブラジルやポリビア、アルゼンチンなど海外にも届いて、ふるさと南風原の今を知ることができる情報源となっています。
「広報はえばる」は、町からのお知らせの他、「はえばるNEWS」や「わが家のアイドル」で町の話や町民のみなさまに登場してもらい、町民のみなさまと協働でつくる広報紙となることを目指し、今後もより見やすく、親しまれる広報紙づくりに努めていきます。

歴代広報担当者にインタビュー!
3代目 赤嶺正之さん
(現 南風原町長)
担当期間 昭和48年3月発行No.8~
昭和55年2月発行No.36

- ・当時の印象に残っている出来事は?
昭和49年12月の、大雨のたびに氾濫する河川の改修や橋の改善を要求する住民運動についての記事が特に印象に残っています。
- ・担当して苦労したことは?
当時は白黒写真を現像するのに1週間から10日ほどかかり、締切りぎりぎりになることも。自分で白黒写真を現像することもありました。
- ・今後の広報はえばるに期待することは?
町からのお知らせだけではなく、町民のみなさんが興味を持ち、町政に親しみを持つような広報紙になってほしいと思います。

SNS・アプリでも情報を発信しています!

QRコード: 広報はえばるバックナンバー

QRコード: LINE公式アカウント

QRコード: マチイロ

QRコード: 公式動画チャンネル



あけましておめでとうございます
南風原町の皆さま
今年もよろしくお願いいたします
子年
年頭のごあいさつ



南風原町議会議長
知念 富信

あけましておめでとうございます。
町民の皆さまには、輝かしい新春を健やかに迎えることとお慶び申し上げます。
平素より議会運営に対し温かいご指導、ご理解を賜り心から厚くお礼申し上げますとともに新春を迎え、南風原町のさらなる発展のため、皆さまと共に知恵を出し鋭意努力してまいりたいと決意を新たにしております。
さて、昨年10月には、首里城で火災が発生し、琉球王国の歴史と文化の象徴する首里城をはじめ、先人達から引き継がれてきた琉球王国の美術工芸品や重要な文化遺産が焼失したことに、隣接する当町の皆さんも深い悲しみと強い衝撃を受けられたことと思います。しかし、沖縄県の県民の皆さんは、このような悲しみを乗り越えるため一致団結、復興に向け動き出しております。
当町議会も微力ながら町民・県民の皆さんと一緒に復興に向け協力していく所存です。
今年は、暗いニュースだけではなく、オリンピックの年でもあります。昨年のラグビーワールドカップ以上に日本の選手皆さんの活躍を期待するものであります。
町議会は、町民の皆さまが安心・安全に、また、将来に向け、明るく健やかに暮らしていただくために財政も厳しい時ですが、町長とタッグを組みこれまでも増して、町民の代表機関として、皆さんの要望に的確に対応し、効果的かつタイムリーに反映できる方策を探るとともに、その責務をしっかり果たしてまいりたいと強く感じております。
これまで、町議会は、町の施策の点検や評価を行うとともに、課題解決に向けた提言や提案を積極的に行ってきました。また、本会議をインターネット中継、議会だよりの充実など開かれた議会運営はもとより、議会機能の充実・強化に向けた様々な改革に取り組んでまいりました。
議会は二元代表制の一翼として、町民の総意を町政に反映させる重要な役割を担っております。南風原町の輝かしいまちづくりのために、町民の皆さまに対し、積極的に情報を発信して参りますので町政及び町議会に参画されるようお願いいたします。
町民の皆さまにとって、この一年が素晴らしい年であることを心からお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。



南風原町長
赤嶺 正之

あけましておめでとうございます。
町民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は町政へのご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
昨年10月に発生した首里城の火災で、沖縄県民の心のよりどころである首里城と、多くの美術品や絵画などの貴重な資料が焼却したことに、町民の皆さまも心を痛めたことと存じます。首里城の早い復興をお祈り申し上げますとともに、支援金を受け付けるなど、本町においてもできる限り支援していく所存でございます。
さて、昨年を振り返りますと、南風原文化センターが開館してから30周年を迎え、祝賀会やフォーラム、コンサートなど様々なイベントが行われました。当センターにはこれまで多くの地域住民が関わっており、歴史や文化の継承だけではなく、住民主体のイベントや交流会など、町の芸術・文化の発信拠点として個性あふれる文化活動の場となっております。
子育て・教育の面では、教育環境整備の一環として、町内すべての幼稚園及び小・中学校の普通教室へのクーラー設置が完了し、園児・児童生徒たちの健康にも配慮した環境となりました。待機児童の解消に向けては、定員90名のよなほ第2保育園と明星保育園の2園、並びに、定員19名の小規模保育園パステル保育園の1園を、来年度中の開園に向けて準備を進めているところです。引き続き子育て環境を充実させ、住みよいまちづくりに向けて取り組んでまいります。
また、昨年は名古屋グランパスの春季キャンプや全国高等学校総合体育大会サッカー競技が黄金公園陸上競技場で開催され、町内外から多くの方々を訪れました。今年も名古屋グランパスの春季キャンプをはじめ、野球や陸上など多くのスポーツ合宿が予定されていますので、さらなる本町のスポーツ振興・発展、そして本町の魅力をPRできるよう観光にも力を入れてまいります。
今年には町制40周年の節目を迎えることから、新たな飛躍の年にするために、多くの政策を成し遂げる年であることを年頭に事務事業等を進めてまいります。町民皆様におかれましては、本年も引き続きご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
結びにあたり、皆様のますますのご多幸とご健康を祈念申し上げます。年頭のごあいさついたします。

謹賀新年 町内の子年生まれ 3,116人 (令和元年11月末現在)

大正13年生まれ (95歳)..... 37人	昭和47年生まれ (47歳)..... 537人
昭和11年生まれ (83歳)..... 194人	昭和59年生まれ (35歳)..... 634人
昭和23年生まれ (71歳)..... 368人	平成8年生まれ (23歳)..... 365人
昭和35年生まれ (59歳)..... 446人	平成20年生まれ (11歳)..... 535人